

グローバル時代の地域デザイン ―成長と持続可能性をめぐる―

宇野求 / 東京理科大学教授・建築家

2012 0827

- グローバルな視点から：都市開発をとりまく条件
- 実務的観点→「リアルに」大きなビジョンと現場的具体

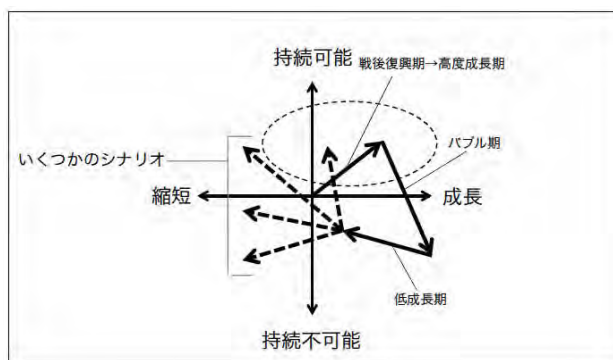
イントロダクション／01 都市の盛衰／02 成長と持続可能性／03 ケース・本牧、立川・豊橋、幕張・日本橋／04 復興支援に学ぶ・南三陸と陸前高田／05 結論

- グローバル時代の都市開発 90s 世界は変容 日本の都市、相対的な位置が動いた
必要条件（妥当性評価、合意形成）、前提条件（都市間交易、要国内外プロトコル）
- 事業成功の条件 →都市のアイデンティティ／→適切な投資と回収
- 今回テーマ 市街化した広大な土地の利活用
↑
[周囲が]

■01 都市の盛衰 ■02 成長と持続可能性

keyword1 グローバル都市のネットワーク

keyword2 成長と持続可能性



(作成：宇野、2012)

keyword3 グローバル都市の盛衰

keyword4 過渡期→計画条件が流動的

keyword5 Community Solution Mechanism/ Market Solution Mechanism

実務的観点1 事業候補者にとっての分かりやすさ：体制、空間、時間

→ 検討諸段階での公開と明示

実務的観点2 地域経営 → ユーザーとの距離＝時間とコスト／地方公共団体の役割重要

実務的観点3 異なる土地柄⇔サービスの交易 → 産業誘致（ソフト：観光、居住、医療、、、）

実務的観点4 これからの都市環境の課題 → 持続可能性 sustainability

実務的観点5 未来のあるまちをつくる → シナリオのデザイン

実務的観点6 社会システム-都市システム-建築システム 不整合を調整する必要

■03 ケース／1970s末以来、宇野が手がけてきた都市プロジェクトから

- 本牧・立川 景観の優れた住宅地・パブリックアート →あたらしい価値を実現
- 豊橋・幕張 駅前公園としての都市施設・街区型集合住宅都市空間→あたらしい価値を実現
- 日本橋 大学による地域連携 →ちいさな都市再生がいっぱい／まちづくりはひとつくり
- プロジェクト全体を初期段階からマネジメントする仕組みづくり
 - 認識の共有、意見の相違確認、検討過程でフィードバック→合意形成を可視化
 - × 完成型を固定して建設を目的化するマスタープラン

■04 復興支援に学ぶ／201103以来、宇野が手がけてきた復興支援活動から

- 大災害は平時の問題点と矛盾をあらわにする
- 東日本大震災復興支援活動(個人および日本建築学会 東日本大震災復興支援本部として)
- 日本建築学会 東日本大震災復興支援本部→まず、情報 把握と分析



日本建築学会 2011年3月16日（撮影：宇野）

4月1日（作成：宇野、2011）

- 南三陸町志津川、宮城県

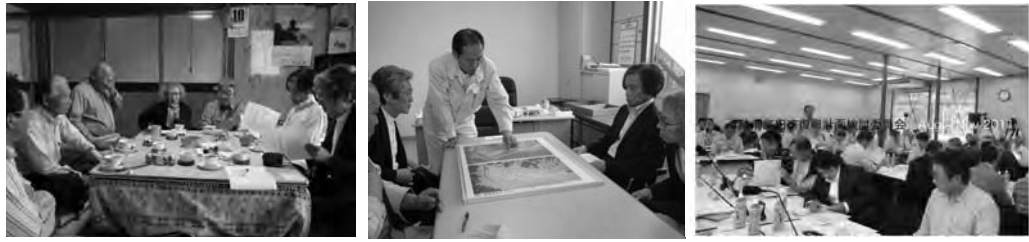


2011年5月7日「番屋」プロジェクト産業復興支援施設

（撮影：宇野、理科大、宮城大、2011）

→スピードが大切、→大学間ネットワーク、→地域経済（生活→産業）から、→町内外の連携

- 陸前高田、岩手県



(撮影：宇野、2011)

- 建築学会と長年の関係 →市民、市長、市役所と意見交換、復興計画検討委員会委員に
- 国の直接支援 →土木（インフラ）、都市計画（土地利用）分野が国を通じて支援
- 複雑な地域構造 →市街地が甚大な被災 →高所移転、嵩上げ



陸前高田市復興計画（市役所資料）

（陸前高田市今泉地区、撮影：宇野、2011）

●現状、復興進捗が思わしくない（2012年8月）

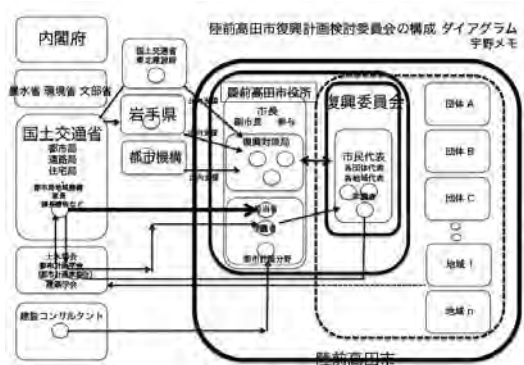
↑

合意形成や事業の優先順位付けが明確に定めきれないまま、急いで予算獲得のための申請手続きとして都市計画を策定

- 将来ビジョンが見えない（10年-20年後？）
- 実態と計画の擦り合わせが充分でない面があった
- 財源不足が懸念される
- 合意形成が困難：

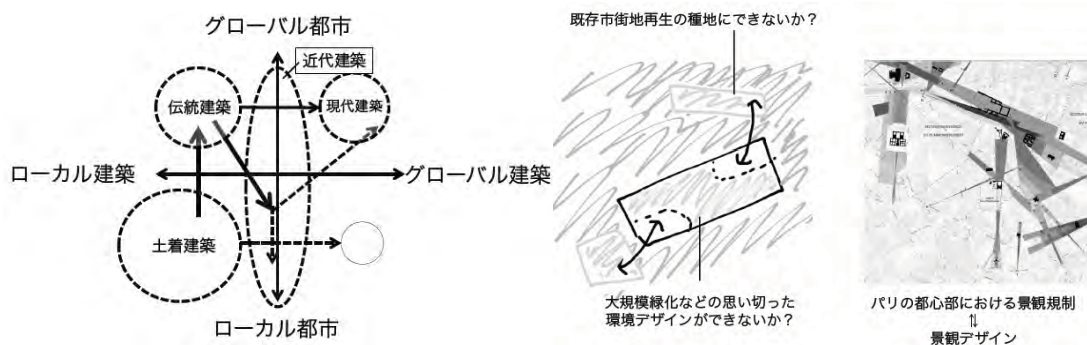
異なる生業複数地域、国主導地域行政主体の複雑な仕組み、各セクターバラバラに多数参入、他国・他地域からの復興支援受入れ体制ができていない等

●既成の（常時の）都市計画制度等の制度による対応が困難、限界があきらかに



■05 結論／以上の専門的学術的な知見と経験から

- 地方都市主体で世界に開かれた開発手法を
都市間交流の促進、地域のひとづくり→まちづくり
専門家による外部支援、意欲ある若い人材の登用
- 成功は都市の規模によらない
→適正規模の人口と投資、都市産業とのマッチングが重要
→具体的でフィージブルなスタディから計画を定めるのが実際の
- 新しく思い切った計画 世界的に評価される面白い計画 たとえば、



(右図出典： <http://www.paris.fr>, "Documents graphiques du Plan local d'urbanismeATLAS GÉNÉRAL DU P.L.U.")

国内他都市で、実現困難な事業を実行すべき

↑国、県、地方公共団体（基礎自治体）の役割大 グローバルな基準で緩急のルール策定を

- ローカルな建築とグローバルな建築で グローバルな都市を
- 成功の条件：特徴があるサービスを提供できること、投資と開発が適正規模であること
- 目利き x 腕利きのプロフェッショナル → コミュニティ・アーキテクトが必要
 - 沖縄の特色を他地域・他都市と明確に違う特徴を表象
- ビジョナリーかつ具体的なスタディが大切